



筑波大学附属学校群のミッション

Designing Education for an Inclusive and Global Society
(インクルーシブでグローバルな社会を実現するための教育をデザインする)

- 時代を切り拓く教育のデザインと革新的な教育実践の追求
- 多様性を尊重しインクルーシブな社会を実現する人材の育成
- グローバルな視野をもち持続可能な社会を実現する人材の育成
- パートナーシップによる未来の共創
- ウェルビーイングの向上と安全・安心・快適な環境の創出



本校の使命

(1)聴覚障害教育の可能性の追求

教育環境を整え、聴覚障害幼児・児童・生徒の心身の発達段階において最も適切な手段で教育し、一人一人の能力を最大限に発揮させる。

(2)実践的研究の推進と発信

筑波大学における聴覚障害教育の研究に協力し、乳幼児から卒業後までの言語指導、教科指導及び生涯教育に関わる実践的な研究を行い、その成果を全国に発信する。

(3)教育実習および現職教育の充実

筑波大学の教育実習生、介護等体験実習生、現職教員研修生及び聴覚障害教育関係者等の参観者の受け入れの他、毎年、聾教育実践研修会、筑波大学公開講座等の研修会を開催して、教員養成と現職教育に寄与する。

学校教育目標

聴覚障害のある幼児児童生徒の心身の発達段階に応じた最も適切な方法で 教育し、進んで自分の能力を開発し広い視野に立って文化的・生産的活動に寄与できる人間を育成する。

幼稚部	小学部	中学部	高等部		寄宿舍
			普通科	専攻科	
子どもの障害の状態や発達の程度を考慮しながら、心身諸機能の調和的発達を図り、人間形成の基礎を培う。	聞こえの状態、言語や心身の段階に配慮し、心身ともに調和のとれた人格の形成をめざす。	聞こえの状態や心身の発達段階に配慮し、中学生らしい成長・発達、心身ともに調和のとれた人格の形成をめざす。	義務教育の成果の上に立って、高等学校に準ずる教育を行い、自ら学ぶ意欲と社会に主体的に関わる力を持った人間の育成をめざす。	各専門分野の学習を通じて生徒の個性を十分に伸ばさせ、現代社会に適応して自立できる人間の育成をめざす。	社会に適応できる豊かな人間性を育成するために、集団生活を通して生徒のものの見方、考え方を広げながら、年齢に応じた自立のための力を身につけさせる。

令和8年度 学校運営方針

研究主題（令和7～9年度）

- (1)幼児児童生徒一人一人の実態に配慮した学習指導、生活指導、進路指導等を充実させる。
- (2)筑波大学の教育・研究に協力する附属学校として、我が国の聴覚障害教育をリードし、革新的かつ汎化可能な実践的研究に取り組み、その成果を発信する。
- (3)聴覚障害教育に係る研究会や研修会等の企画・運営、研修生の受け入れや講師派遣等を行い、聴覚障害教育の専門性の発展に貢献する。
- (4)海外の聴覚障害教育関係機関との交流を通じて、グローバルな視野を育むとともに、児童生徒のコミュニケーション力の向上を図る。
- (5)他附属学校や医療機関、地域社会との関係を強化し、インクルーシブ教育に係る交流や外部支援に取り組む。
- (6)幼児児童生徒及び教職員が誇りを持ち、安全・安心・快適に過ごすことができる環境作りを推進する。

「豊かな言語力と確かな学力の育成を目指した ICT の(利)活用」

ICT は幼児児童生徒への指導や学習支援に有効であるとともに、教職員の情報共有や校務の効率化、保護者との連携強化にも寄与し、学校教育を支える基盤となっている。GIGA スクール構想により一人一台端末環境が定着した現在、その活用が学習成果に与える影響を検証する必要性が高まっている。これらを踏まえ、豊かな言語力と確かな学力の育成に向けて ICT の利活用に関する研究を進める。